

～株主のみなさまへ～

株主メモ

事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
配当金受領株主確定日	期末配当 11月30日 中間配当 5月31日
定時株主総会	毎年2月
公告方法	電子公告（当社ホームページ） ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）

（ご注意）

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社に関する情報がご覧になれます。



<http://www.hokkochem.co.jp/>

第60期 中間事業レポート

（平成20年12月1日から平成21年5月31日まで）



〒103-8341 東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号
TEL 03(3279)5151



●株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第60期上半期（平成20年12月1日から平成21年5月31日まで）の事業概況について、ご報告申し上げます。

[事業の概況]

当上半期におけるわが国経済は、米国の金融危機を発端とした世界的な景気悪化と円高の進行に伴う輸出の急減により企業収益が大幅に悪化いたしました。その結果、設備投資の抑制や生産調整、株価の下落、個人消費の低迷が進行し、景気は急速に後退いたしました。

国内農業を取り巻く環境は、昨年の世界的な穀物需給の逼迫に伴う価格高騰や食品の安全性確保から、食料自給率の向上や減反政策の見直しなどの議論が高まっているものの、農家の高齢化や耕作放棄地の増大等、依然として厳しい状況にあります。

また、農薬以外のファインケミカル業界におきましては、世界経済の悪化や円高による輸出の急減により業界全体が在庫調整に動いた結果、販売は非常に厳しい状況となりました。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、農薬事業、ファインケミカル事業ともに積極的な販売に努めましたが、全体の売上高は207億5千5百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

利益面では、営業利益は売上高の減少並びに新剤開発による委託試験研究費の増加により1億4千3百万円（前年同期比79.7%減）、経常損失は3千9百万円（前年同期は経常利益4億8千8百万円）となりました。四半期純損失は会計基準の変更に伴い棚卸資産の評価減を特別損失に計上したことなどから3億7千1百万円（前年同期は四半期純利益2億8千4百万円）となりました。

通期業績および今後の事業環境が見通しにくい状況にあります。当社では安定的・継続的な配当を実施していくことを方針としており、

当上半期の中間配当につきましては、1株につき5円とさせていただくことといたしました。また、年間の配当につきましては、10円とさせていただく予定でございます。

なお、当社グループでは、平成21年度を初年度とする「3ヵ年経営計画」を策定し、最終年度である平成23年度において、売上高510億円、経常利益17億円を達成することを目標としております。

その達成のため、現時点で以下の取り組みを進めております。

[業績向上に向けた取り組みについて]

- 激変する環境変化に適切かつ迅速に対応し、農家のみなさまやお取引先のニーズに的確に応える体制を強化するため、組織全体の見直しを進めております。
- 農薬事業では、今後の主力商品となる新剤を平成22年度から発売する予定であります。
- また、独自に創製した水稲用除草剤HOK-201を、平成22年末を目標に登録申請を完了する予定であります。

○ファインケミカル事業では、付加価値の高い新製品の生産と当社グループの生産力増強を目的とした当社岡山工場と子会社の張家港北興化工有限公司の新プラントが年内に竣工し、来年初めより稼働開始する予定であります。

当社グループは、今後とも株主のみなさまの期待と信頼に応えるよう業績の向上を図るとともに、企業価値を高めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年8月



代表取締役社長

丸山孝雄

● 連結財務諸表(要旨)

● 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		
	当第2四半期 (平成21年5月31日現在)	前中間期 (平成20年5月31日現在)	前連結会計年度 (平成20年11月30日現在)
(資産の部)			
流動資産	34,167	36,144	31,398
固定資産	14,042	14,747	13,723
資産合計	48,208	50,891	45,121
(負債の部)			
流動負債	22,484	25,802	22,267
固定負債	11,039	7,961	7,872
負債合計	33,523	33,763	30,139
(純資産の部)			
株主資本	13,955	15,548	14,466
資本金	3,214	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608	2,608
利益剰余金	9,121	10,708	9,630
自己株式	△ 988	△ 983	△ 986
評価・換算差額等	730	1,580	516
その他有価証券評価差額金	847	1,572	662
繰延ヘッジ損益	△ 1	△ 2	△ 23
為替換算調整勘定	△ 115	10	△ 124
純資産合計	14,685	17,128	14,982
負債及び純資産合計	48,208	50,891	45,121

● 第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別		
	当第2四半期 (平成21年5月31日まで)	前中間期 (平成19年12月1日から平成20年5月31日まで)	前連結会計年度 (平成19年12月1日から平成20年11月30日まで)
売上高	20,755	25,483	47,526
売上原価	16,072	20,191	38,171
売上総利益	4,683	5,292	9,356
販売費及び一般管理費	4,540	4,587	9,175
営業利益	143	704	180
営業外収益	242	176	649
営業外費用	424	392	870
経常利益又は経常損失(△)	△ 39	488	△ 41
特別利益	40	1	2
特別損失	568	46	653
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	△ 567	443	△ 693
法人税等	△ 196	160	△ 36
四半期純利益又は四半期(当期)純損失(△)	△ 371	284	△ 656

● 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

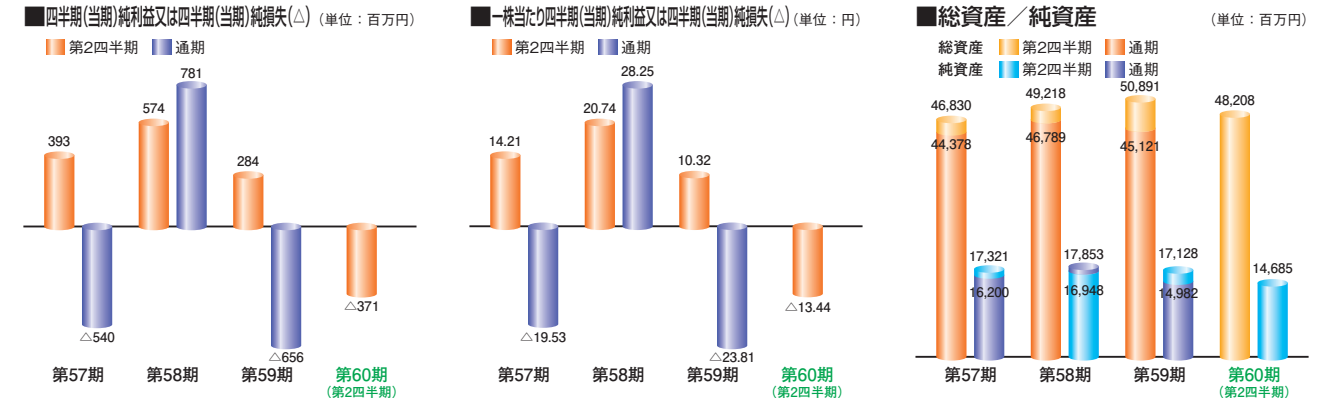
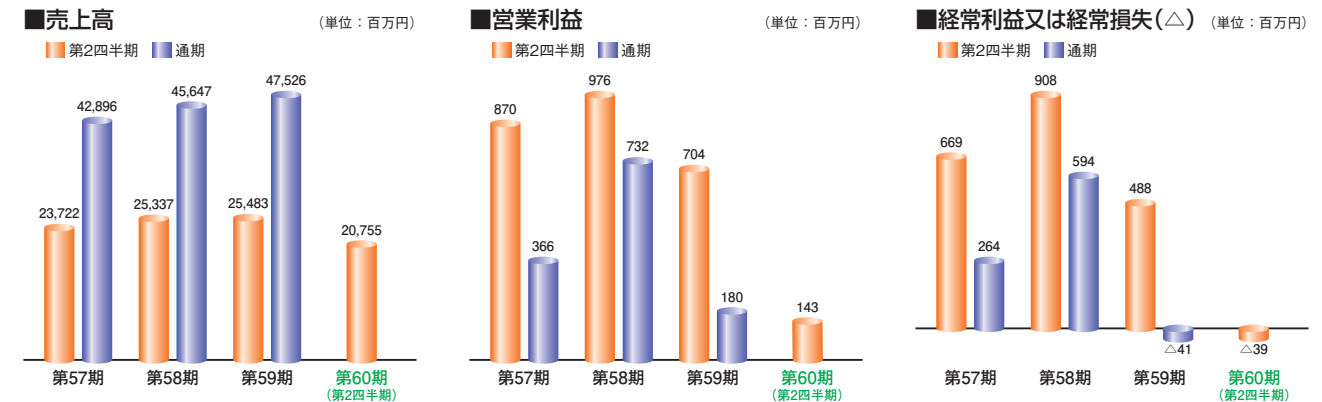
科目	期別		
	当第2四半期 (平成21年5月31日まで)	前中間期 (平成19年12月1日から平成20年5月31日まで)	前連結会計年度 (平成19年12月1日から平成20年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,574	△ 2,103	2,726
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,816	△ 1,880	△ 3,731
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,928	3,240	431
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	△ 3	△ 93
現金及び現金同等物の増減額	△ 432	△ 746	△ 667
現金及び現金同等物の期首残高	1,629	2,296	2,296
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,197	1,549	1,629

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

● 連結財務ハイライト

	第57期		第58期		第59期		第60期
	(中間期)	(通期)	(中間期)	(通期)	(中間期)	(通期)	(第2四半期)
売上高(百万円)	23,722	42,896	25,337	45,647	25,483	47,526	20,755
営業利益(百万円)	870	366	976	732	704	180	143
経常利益又は経常損失(△)(百万円)	669	264	908	594	488	△ 41	△ 39
四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失(△)(百万円)	393	△ 540	574	781	284	△ 656	△ 371
一株当たり四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失(△)(円)	14.21	△ 19.53	20.74	28.25	10.32	△ 23.81	△ 13.44
総資産(百万円)	46,830	44,378	49,218	46,789	50,891	45,121	48,208
純資産(百万円)	17,321	16,200	16,948	17,853	17,128	14,982	14,685

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。



トピックス

張家港北興化工有限公司の新プラント建設

中国江蘇省の当社100%出資子会社張家港北興化工有限公司は、上海から北西へ約150kmの揚子江沿いに位置し、平成14年8月の設立以来当社の主力製品のひとつで化学工業の幅広い分野で使用されるTPP（トリフェニルホスフィン）を製造販売しています。

また、業容の拡大を図るために同公司に新プラント建設を進めており、今秋の稼動に向けて建設の最終段階を迎えています。

新プラントでは、TPPを使用して製造する電子材料原料など、付加価値の高い各種ファインケミカル製品を生産します。

なお、張家港北興化工有限公司では平成19年12月にISO9001および14001の認証を取得しています。今後ともお取引先のニーズに応える製品の提供と環境保全に努力してまいります。

さらに、併行して進めている岡山工場合成第8工場においても、工事は順調に進んでおり、計画通り年内完成予定です。



最終段階を迎えた新プラント

北興産業株式会社の「ガーデンソフトパック」シリーズ

当社グループの北興産業株式会社では、効果や安全性はもとより、環境への負担軽減も考慮した家庭園芸用製品の商品化を進めています。

平成21年度は、手持ちの空のスプレー容器を再利用できるソフトパック包装入り殺虫殺菌剤「ダブルアタック」に加え、殺虫剤「ブルースカイAL」、殺菌剤「ハナガードAL」を「ガーデンソフトパック」シリーズとして発売しました。空のソフトパックは丸めて廃棄ができ、ゴミの減量化にも役立ちご好評を得ています。

今後も、安心して家庭園芸農薬をご使用いただけますよう、安全で環境に優しい製品の開発に努めてまいります。



ダブルアタック



ブルースカイAL



ハナガードAL

会社の概要

(平成21年5月31日現在)

会社の商号 (英訳名)	北興化学工業株式会社 HOKKO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
本社	東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号
創立年月日	昭和25年2月27日
資本金	32億1,395万円
上場取引所	東京証券取引所 市場第1部上場
従業員数	739名

役員・執行役員の状況

(平成21年5月31日現在)

代表取締役社長	丸山孝雄
取締役専務執行役員	安市橋素仁
取締役専務執行役員	安森山素生
取締役常務執行役員	中川雅知
取締役執行役員	小林博一
取締役執行役員	野口一等
取締役執行役員	海上浩和
常勤監査役	青木昌憲
常勤監査役	白岩隆史
常勤監査役	島田幸一
監査役	前田清一
執行役員	尾野耕造
執行役員	小川裕二
執行役員	高橋利隆
執行役員	渡辺英夫
執行役員	大場政幸
執行役員	鎌木信良
執行役員	内山次男
執行役員	山口茂

(注) 1. 野口等氏は、社外取締役であります。
2. 白岩憲史、島田隆幸の両氏は、社外監査役であります。
3. 常勤監査役青木昌和氏は、平成21年6月18日に逝去され退任いたしました。
なお、当該監査役退任後におきましても、法令および定款における監査役の員数は満たしております。

株式の状況

(平成21年5月31日現在)

●発行可能株式総数	92,000,000株
●発行済株式の総数	29,985,531株
●株主数	6,123名 (前期末比211名減)

連結子会社の状況

(平成21年5月31日現在)

会社名	資本金 (百万円)	当社の議決権比率 (%)
北興産業株式会社	30	100
美瑛白土工業株式会社	10	100
ホクコーパックス株式会社	10	100
張家港北興化工有限公司	1,800	100

(注) ホクコーパックス株式会社の当社議決権比率には、間接所有40%を含んでおります。

事業所の所在地

(平成21年5月31日現在)

支店	札幌、秋田、仙台、東京、新潟、富山、名古屋、大阪、岡山、高松、福岡
工場	北海道、新潟、岡山
研究所	開発研究所(神奈川)、 化成品研究所(神奈川)
試験農場	北海道、静岡